

令和4年度病害虫発生予察情報 予報第11号（11月）

令和4年11月16日
発表：福島県病害虫防除所

1 野菜・花き

作物名	病害虫名	地方	発生時期	発生量	予報の根拠	防除上注意すべき事項
イチゴ	うどんこ病	全 域	—	平年並	発生ほ場割合は平年並であった（±）。	多発すると防除が困難になるので、発病初期から防除を実施する。
	土壌病害 （萎黄病、炭疽病）	全 域	—	平年並	発生ほ場割合は平年並であった（±）。	発病株及び発病が疑われる株は、見つけしだい抜き取り、ほ場外に持ち出すなど適切に処分する。
	アブラムシ類	全 域	—	平年並	発生ほ場割合は平年並であった（±）。	低密度時から薬剤防除を実施する。
	ハダニ類	全 域	—	平年並	発生ほ場割合は平年並であった（±）。	低密度時から防除を徹底する。 薬剤感受性が低下しやすいので、薬剤の効果を確認し、気門封鎖剤も含めて系統の異なる薬剤をローテーション散布する。 天敵製剤（ミヤコカブリダニ、チリカブリダニ）を放飼している場合は、ハダニ類の発生状況に応じて、天敵に影響の小さい薬剤を選択する。
	コナジラミ類	全 域	—	平年並	発生ほ場割合は平年並であった（±）。	低密度時から薬剤防除を実施する。

注）予報の根拠の中で（+）は多発要因、（-）は少発要因、（±）は平年並要因であることを示す。